

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	RILEM 小委員会	主 査 名：本橋健司 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会	委員長名：梶田 佳寛
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ RILEM 小委員会を通して、RILEM の重要な情報を本会会員に紹介する。</p> <p>・ 本会における材料・構造分野の成果を RILEM の技術委員会活動に反映させる</p> <p>2006 年度：RILEM および日本におけるこれまでの研究動向を分析し、今後の研究のあり方などについて建築雑誌、ホームページを通して情報発信する。</p> <p>2007 年度：上記に引き続き検討を進め、その成果を建築雑誌、RILEM 小委員会ホームページに公開する。</p> <p>2008 年度：同様の活動を継続する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：本橋 健司 (独立行政法人 建築研究所 材料グループ)</p> <p>幹事：三橋 博三 (東北大学 工学研究科都市・建築学専攻)</p> <p style="padding-left: 2em;">今本 啓一 (足利工業大学 工学部 建築学科)</p> <p>委員：石川 雄康 (太平洋セメント中央技術研究所 研究開発部 コンクリート技術チーム)</p> <p>委員：大濱 嘉彦 (日本大学名誉教授)</p> <p>委員：檜野 紀元 (市立前橋工科大学 工学研究科 環境・情報工学専攻)</p> <p>委員：友澤 史紀 (日本大学 生産工学部建築工学科)</p> <p>委員：永山 勝 ((財)日本建築総合試験所)</p> <p>委員：松井 勇 (日本大学 生産工学部建築工学科)</p> <p>委員：武藤 正樹 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅ストック高度化研究室)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2008 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： http://news-sv. aij. or. jp/zairyuu/s3/

項 目	自己評価		
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)		
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし		
講習会	1. なし	参加者数	名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし	参加者数	名
	2. なし	参加者数	名
大会研究集会	1. なし	参加者数	名

対外的意見表明・パブリックコメント等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建築雑誌に「RILEM ニュース：8月号 “Workshop on Transport Mechanisms in Cracked Concrete について”」を掲載した。 2. (独) 建築研究所主催による RILEM 国内連絡会を実施し、RILEM 国内委員との情報交換を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページを中心とする対外的な情報発信が予定通りなされた(アクセス数は開設以来 5300 件以上となっている) 2. 建築雑誌において、本年度、2 回「RILEM ニュース」を掲載した(これまでの掲載数は計 41 編)。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算縮減に伴う委員会開催回数の制約 2. メールなどを利用した情報連絡の更なる合理化 (上記 1 への対策として) 3. 会員への RILEM 紹介の継続的努力の必要性

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。